

企業活性化・雇用緊急対策本部の取組状況について
(平成21年5月)

企業活性化・雇用緊急対策本部

1 緊急経済・雇用対策事業の進捗状況（主な事業）

緊急経済・雇用対策として、①金融対策・資金対策の強化、②雇用対策、③消費の
下支え対策による県内需要の拡大、④企業の経営革新・創業支援の4本柱を中心に事業を
実施している。その主な事業の進捗状況は次のとおりである。

(5月31日現在)

	事業名	事業概要及び進捗状況
① 金融	経営安定資金	受注減や取引企業の倒産により経営不振に陥っている 中小企業に対し低利な事業資金を提供 ・限度額:2億円 ・保証料:0.18%(通常0.88%) ・利率:1.75% ・融資枠800億円
		H20 666億円 合計 779億円 H21 113億円(内5月分 52億円)
② 雇用	雇用対策事業	雇用対策基金等を活用し、将来の雇用やキャリア転換 に役立つ事業、研修等を実施する。 新規雇用予定数:約3,600人(県・市町村)
		H20 県 456人、市町村 321人 H21 県 378人(内5月分 84人) 市町村 636人(内5月分 241人) 合計 1,791人(内5月分 325人)
③ 消費 拡大	環境対応車買換促進事業	低燃費かつ低排出ガス認定車の新車に買い換える場合 に関係団体と連携して助成(車両本体価格の5%、 20万円上限)
		H20 1,548台 H21 2,884台(内5月分 1,104台) 合計 4,432台
④ 経営 革新	住まいづくり応援事業	高齢者同居・子育て世帯向け住宅取得やリフォームを する場合ローンの一部を助成
		H20 新築等57件、分譲14件、改修等8件 H21 新築等99件、分譲8件、改修等34件 (内5月分新築等60件、分譲4件、改修等19件) 合計 新築等156件、分譲22件、改修等42件
④ 経営 革新	フェニックスプラン21	補助金の補助限度額の引き上げ等の制度改正を実施し て経営改革を支援
		H20 4件 H21 0件(内5月分0件) (5月11日より募集開始)
	相談会の開催	支部(地域振興局)毎にハローワークや市町村、社会 福祉協議会などと連携して求職者生活・就労支援合同 相談会を開催
		H20 1地域 2日開催 H21 8地域 15日開催(内5月 2地域 4日)

2 企業訪問活動の状況

(5月31日現在、単位：社)

年 度	訪問企業数
平成20年度	2,015
平成21年度	894 (内5月477)
計	2,909

■企業からの主な要望・提案（5月分）

- ・ 離職者が創業した場合の創業支援補助金の雇用要件緩和
- ・ 介護職へのキャリア転換就労支援事業に関する要望・提案
 - ① 募集条件の緩和
 - 現行：H20.10月以降のヘルパー資格取得者 → H20.9月以前の資格取得者も可
 - ② 受入希望施設での職場体験の実施
- ・ 社会福祉施設へのスプリンクラー設置、地デジ対応テレビ購入に対する補助

3 離職者の状況

(1) 平成21年5月の状況

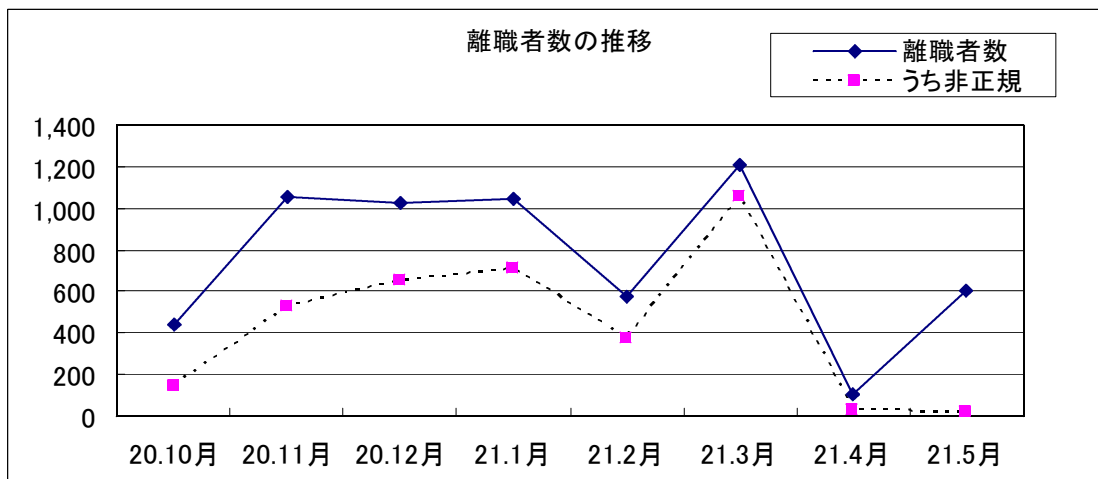
本部で把握した平成21年5月の離職者数は、由利及び雄勝地域の製造業における事業所閉鎖に伴う解雇などにより、605人（内非正規労働者22人）と4月に比べて大幅に増加した。今後も正規労働者を中心に173人の離職が見込まれ、依然として厳しい状況が続いている。

(5月31日現在、単位：人)

地域振興局	H21.5.1~5.31		今後の離職見込み	うち非正規労働者
	離職者数	うち非正規労働者		
鹿角	0	0	0	0
北秋田	4	0	0	0
山本	28	0	0	0
秋田	57	0	0	0
由利	372	1	140	0
仙北	19	0	22	3
平鹿	13	0	11	10
雄勝	112	21	0	0
合計	605	22	173	13

注1) 訪問した2,909社で回答があった企業2,814社及び市町村等からの情報により把握できた離職者の実績又は予定のある252社分の状況をまとめたものである。

(2) 離職者数の推移



(単位：人)

	20.10月	20.11月	20.12月	21.1月	21.2月	21.3月	21.4月	21.5月
離職者数	442	1,053	1,028	1,046	573	1,210	105	605
非正規	146	530	651	711	376	1,056	25	22